

2023 年度 ニチキッズ仙台くろまつ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024 年 1 月 4 日（木）～2 月 22 日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024 年 3 月 16 日（土）
	実施方法	話し合いにより保育環境の現状を職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊び おもいっきり学ぶ」の保育理念に基づいた指導計画や食育計画・保健計画に沿った指導計画の立案に努め、子ども達が「安心して遊びこめる」環境づくりに重きを置き、ありのままの姿を受け止め子どもにとっての『最善の利益』のための保育と保育者としての役割を全体で共有してきたところ保育園が子ども達にとって安心して遊びこめる場になり、遊びや生活の中で自主性の土台が構築されている。
子どもの発達援助	職員が自己研鑽を積み重ねることで、子ども一人ひとりの年齢に応じた保育計画立案に繋がり、個々に対する望ましい援助や課題が見出され幼児理解が深められ、集団生活や個との関わりにおける発達の土台が育まれてきた。
保護者に対する支援	全ての保護者の困り感を受け止め、登降園時に保護者との会話を大切に丁寧に関わり、信頼関係の構築に努めてきた。ホームページの更新をすることで、子ども達の成長や園生活の楽しさを共有できるよう努めた。
保育を支える組織的基盤	15 分ミーティングや職員会議、給食会議で共通理解を深め、職員全員が統一した援助ができるよう努めた。職員個々の課題を園全体の課題として受け止め、園内研修として学び続けたことが保育の質の向上に繋がってきている。

総評
日々の昼礼や 15 分ミーティング、保育日誌や連絡帳を通して日々の保育の見直しや、子どもたちや保護者に対しての接し方、業務について再確認し共通理解を深め全園児の小さな疑問を共有したことが二つの保育目標を達成できる望ましい保育環境を整えることに繋がり、コロナが 5 類に移行し活動や行事にも変化が見られたが安心して園生活を送り保育理念「おもいっきり遊ぶ」「思いっきり学ぶ」に基づき保育目標達成に繋がった。園行事を通じ保護者とのコミュニケーションもより一層深まり子どもたちの成長を共有することができ信頼関係の構築になった。保育の質向上を図り、保育の振り返りにより乳幼児期における最も好ましい環境づくりに努め栄養士と連携をとりながら食育に取り組んでいきたい。「子どもにとっての最善の利益」という視点から、全職員が外部等の研修等に参加できる体制を整え、学びの場を確保し保育の質の向上に努めていき子どもと保護者に寄り添った保育を目指していきたい。今後はより一層「報・連・相」を徹底し安心・安全な保育を提供していきたい。施設課題に関しては、引き続き定期的に振り返り職員が積極的に意見を出し合い課題改善に努めていく。